

わかりやすく、すぐに役立つ図面の基礎を習得していただきます!!

設計意図を伝えるテクニック Level 2

幾何公差 はじめの一步

受講対象

製図力を強化したい技術者。現場の加工者や生産技術、計測・検査担当者など幾何公差の盛り込まれた図面を読む立場の方。

日時 2022年2月18日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

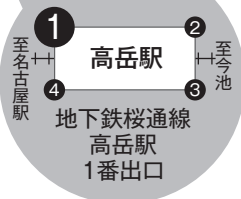
日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。



セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

2/18 幾何公差LV2

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考		<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員	

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp 郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

開催主旨

2016年にJISによって次のような提言がありました。『幾何公差が適用されてはじめて解釈に一義性が保証されるが、日本では位置の寸法にも現状の意味での寸法公差を適用する図面例が多く見受けられる。こんな状況を今後も看過するならば、日本人が描いた図面は海外では通用しないものとなり、日本の技術力に信用及び国際性がなくなってしまう可能性が大きくなることは必至である』と。

つまり、グローバルに適應する図面は、機能上、重要な長さや直径はサイズ公差で表現し、機能上、重要な位置は位置公差で表すべきというものです。

このように、幾何公差を使って図面を描き公差検討することを「GD&T (Geometric Dimensioning & Tolerancing, 幾何公差設計法)」といいます。

本セミナーでは、GD&Tによる品質保証システムを構築するための基本である幾何公差のルールと解釈を幾何公差初心者の方にもわかりやすく解説いたします。

講師

(株)ラブノーツ／六自由度技術士事務所 代表取締役 技術士(機械部門) **山田学氏**

【略歴】 S38年生まれ、兵庫県出身。ラブノーツ 代表取締役。

著書として、『図面って、どない描くねん! 第2版』、『設計の英語って、どない使うねん!』、『めっちゃ使える! 機械便利帳』、『図解力・製図力 おちゃのこさいさい』、『めっちゃ、メカメカ! リンク機構99→∞』、『メカ基礎バイブル (読んで調べる!) 設計製図リストブック』、『図面って、どない描くねん! Plus+』、『図面って、どない読むねん! LEVELOO 第2版』、『めっちゃ、メカメカ! 2 ばねの設計と計算の作法』、『最大実体公差』、『設計センスを磨く空間認識力“モチアゲ”』、『図面って、どない描くねん! バイリンガル』共著として『CADって、どない使うねん!』(山田学・一色桂 著)、『設計検討って、どないすねん!』(山田学 編著)などがある。

プログラム

1. サイズ公差と幾何公差の違いとは

- (1) 独立の原則を理解する
- (2) 加工のバラつき・計測のバラつきを知る

2. 幾何公差の基本「データム」とは「幾何特性」とは

- (1) データムの記入方法(図示方法)
いろいろな指示方法を知ることで作図の迷いを払拭する
- (2) データムの優先順位
- (3) 加工・計測とデータムの関係
- (4) 幾何公差が規定する形体
- (5) 公差記入枠の記入法

3. カタチを制御する ～形状偏差の理解～

形状偏差、6つの種類

- ・真直度
- ・真円度
- ・線の輪郭度
- ・平面度
- ・円筒度
- ・面の輪郭度

あるべき形状を規制するのが形状偏差

【演習】 形状偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

4. 傾きを制御する ～姿勢偏差の理解～

姿勢偏差、5つの種類

- ・平行度
- ・直角度
- ・傾斜度
- (・線の輪郭度)
- (・面の輪郭度)

あるべき角度と形状を規制するのが姿勢偏差

【演習】 姿勢偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

5. 位置を制御する ～位置偏差の理解～

位置偏差、5つの種類

- ・同軸(心)度
- ・対称度
- ・位置度
- (・線の輪郭度)
- (・面の輪郭度)

あるべき位置、形状、姿勢と共に規制するのが位置偏差

【演習】 位置偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

6. 振れを制御する ～振れ偏差の理解～

振れ偏差、2つの種類

- ・円周振れ
- ・全振れ

軸を回転させたときの表面形体の振れを規制するのが振れ偏差

【演習】 振れ偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

※筆記用具をご持参ください。